資料１

令和８年度「農林水産力」の強化に向けた取組

令和８年２月25日
青森県

関係者との対話の状況（令和７年度）

	４～６月	７～９月	10～12月	１～３月
対　　話	日頃の普及活動や「＃あおばな」等の対話により約1，500件の意見を集約			
	対話強化月間（５～６月）	各部会（第１回）（７月） 農政審議会（８月） 水産振興審議会（７月） 森林審議会（８月）	森林審議会（12月）	各部会（第２回）（１月） 「農林水産力」強化本部（２月）
施策形成	「＃あおばな」（農林水産関係６回）			
		方向性の検討 知事･副知事と部局長の意見交換（９月）	Ｒ８予算の検討	２月議会

※R7.1月末時点の実績

対話で出された主な意見

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

■農業

・新たな技術導入に対して伴走支援してほしい
・りんごの高密植栽培は現状まだ省力栽培になっていない
・県産雌子牛の取引価格を上昇させてほしい
・魅力的な青森県産品をもっとPRしてほしい
・りんごのマルバ園等では省力化への抜本的変革が必要
・担い手として企業の力が必要
・新規就農者等に世界の農業を学ぶ機会を創出してほしい
・りんごの品種構成が「ふじ」に偏重して気候変動リスクに弱い
・従来の水稲技術では夏季高温の影響を回避できない可能性がある
・大型獣による農作物被害を低減してほしい


とわだ農志会との＃あおばな


木魂会との＃あおばな

■林業

・自社が利用する森林資源を永続的に確保するため、新たな森林取得を進めたい
・林業アカデミーの機能を強化してほしい

■漁業

・ホタテ親貝不足への対応が急務
・若い漁業者が学べる場を増やしてほしい


ゆかい村風間鮫鰊ブランド戦略会議
との＃あおばな

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ２０２６

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋（R6～10）

めざす姿（しごと分野）　若者が、未来を自由に描き、実現できる社会（農林水産業が持続的に発展する社会）

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ（R6～10）

強化パッケージ2026見直し内容

■総プロジェクト数

２０２５年	２０２６年
４４	４４

販売力強化	生産性向上	人財育成	農山漁村振興
4プロジェクト	28プロジェクト	5プロジェクト	7プロジェクト

■新たに１つのプロジェクトを追加

野生鳥獣の農作物被害防止対策の推進Ｐ

■２つのプロジェクトを１つに統合

「緑豊かな森林づくりによるＣＯ２吸収力の強化Ｐ」と「スマート林業技術等を活用した林業のデジタルシフトＰ」を「青い森を未来につなぐ再造林推進Ｐ」に統合

■３つのプロジェクトの拡充・名称変更

令和8年度農林水産政策の重点項目

1. 所得を上げる　ための「生産者の経営改善」支援
2. 産業を守る　ための「戦略の推進」、「企業」等との連携
3. 次代を支える　ための「人財」の確保・育成
4. 食料を安定供給する　ための「環境変化」への対応

① 所得を上げるための「生産者の経営改善」支援

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

所得向上プログラムの実践支援

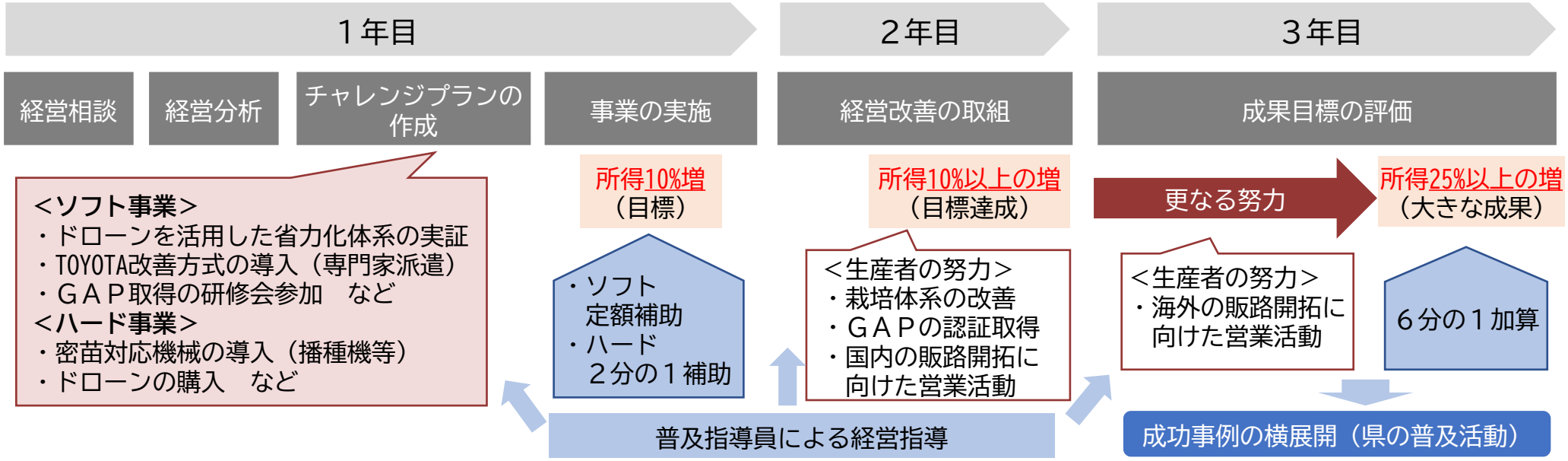
①農業者の経営分析・経営改善等の指導体制の強化

・所得向上プラグラムを活用したチャレンジの推進
・ICTを活用した効率的な指導体制の構築　など

②所得向上チャレンジプランの実践支援

農業者提案の所得向上チャレンジプランに対するソフト・ハード一体型の支援
・ソフト支援（必須）：定額
・ハード支援：２分の１補助
　　：成果が大きい場合６分の１加算（後年度）　} 補助率は最大３分の２（上限あり）

取組イメージ



① 所得を上げるための「生産者の経営改善」支援

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

スマート農業機械の導入支援

担い手の減少や物価高騰が続く中、持続可能で生産性の高い農業を実現するため、スマート農業機械等の導入を促進し、経営の継続・発展に取り組む農業者を支援する。

1 補助対象者
農業者個人、農地所有適格法人、農作業受託組織等

2 補助対象経費
省力・軽労効果が高いスマート農業機械等の導入に要する経費

3 補助率
2分の1以内（上限1,250万円）

想定されるスマート農業機械例

- 自動操舵システム機能付き農業機械（水稲ほか）
- 土壌センサー搭載型可変施肥田植機（水稲）
- 農薬散布用無人航空機（農作物全般）
- 高度環境制御システム（施設園芸）
- 自立走行無人草刈機（果樹など）
- キャビン付きスピードスプレーヤ（果樹）



1 所得を上げるための「生産者の経営改善」支援

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

肉用牛の生産構造のダイナミックな変換

①ゲノミック評価による優秀な雌子牛の選定

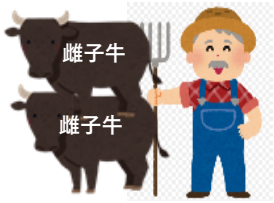
・子牛の能力を推定するため、生産者のゲノミック解析に係る費用を県が全額負担

②高評価雌子牛の市場取引の定着、保留の推進

・ゲノミック評価結果のセリ名簿への掲載
・高評価雌子牛を購入し、繁殖雌牛として供用する場合に奨励金を交付

取組イメージ

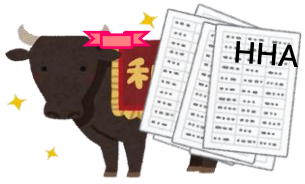
繁殖農家
（子牛販売者）



ゲノミック解析
（優秀な雌子牛の選抜）



子牛市場
（評価結果の公表、標識）



県内の購買者
（奨励金交付）

・繁殖雌牛として県内定着
・和牛改良への協力



繁殖基盤の強化
（雌牛の高能力化）
↓
市場活性化
市場価格の上昇
（農家所得向上）

〇本取組を2年間継続することで、子牛の販売価格が上昇し、農家所得が向上。
個々の経営体が、継続的にゲノミック解析の実施や高評価雌牛を購入できる基盤が構築される。

1 所得を上げるための「生産者の経営改善」支援

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

「食の宝庫あおもり」の認知度向上

①多彩な県産食材の年間を通じた提案によるブランド力強化

・ミシュランガイド星獲得店や高級ホテルレストランでの季節ごとのコースメニューの開発・提供
・シェフを本県に招請し、生産者や料理団体等との調理交流会の実施
・高級食材専門ECサイトに開設する県産食材ページによる、メニューと連動した県産食材の購入PR

②メディア展開による「食の宝庫あおもり」の浸透

・シェフインタビューによる、多様なメディアでのシズル感の発信
・県産食材の多様性等をPRするプロモーション動画による、新マーク発表を契機とした情報拡散

取組イメージ



県産食材をふんだんに使用したコースメニューの開発・提供



多様なメディアでのシズル感のある情報発信



ECサイトでのメニューと連動した県産食材の購入PR



「食の宝庫あおもり」の全国的な浸透を目指す

２ 産業を守るための「戦略の推進」、「企業」等との連携

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

りんごマルバ園等の高品質・省力化の推進

本県りんご栽培面積の9割以上を占めるマルバ園等において、少ない労働力で高品質安定生産を実現するため、**省力的な園地構造への転換**、**高品質かつ省力化生産指導の徹底**を支援する。

①省力的な園地構造への転換

- 省力的なマルバ園地の造成支援
- 成園の整列樹形化に要する機械導入支援
- 省力化機械の実証試験

②高品質かつ省力化生産の指導強化

- 公益財団法人青森県りんご協会が行う生産者指導等への補助



整列化した労働生産性の高いマルバ園

２ 産業を守るための「戦略の推進」、「企業」等との連携

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

陸奥湾ホタテガイ総合戦略推進パッケージ

①<育てる>生産高度化
・高水温に対応した養殖技術品種の開発
・陸奥湾ホタテガイ産業の将来検討（あり方検討会） など

②<営む>経営力強化
・湾内漁協における貝毒蓄積傾向の把握
・陸奥湾内の栄養塩等の状況把握 など

③<売る>販売促進
・大型ホタテガイのハイブランド化推進
・大型ホタテガイ加工品の強化 など

「陸奥湾ホタテガイ産業のあり方検討会」での検討

陸奥湾ホタテガイ総合戦略
①生産高度化
②経営力強化
③販売促進

＋

追加対策
①採苗不振対策
②餌料環境対策
③高水温対策
④過密収容対策
⑤経営安定対策
⑥リーフレットの全戸配布
⑦災害条例発動

▶

令和７年秋の実態調査結果
①へい死率
〔令和6年産貝 新貝 93.3%
令和7年産貝 稚貝 80.4%〕
・昭和60年以降最悪となった。
②令和5,6年産親貝の保有数量
〔677万枚〕
・安定採苗に必要な親貝の目安となる1億4千万枚を下回った。
③高水温期間
・中層で23℃以上が約3ヶ月、下層で約2.5ヶ月と長期に渡った。

▶

あり方検討会
①目的
・科学的知見に基づい現状把握
・中・長期的な視点で海洋環境の変化に対応した選択肢を検討
②検討項目
・陸奥湾ホタテガイ養殖業のあり方について
など

▶

安定生産と成長産業化

２ 産業を守るための「戦略の推進」、「企業」等との連携

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

農林水産業への企業参入の推進

①企業との信頼関係の構築

・企業へのアプローチ活動の展開や、産地の合意形成を支援

②投資を呼び込む「資本参入」支援

・現地調達等を目的とした県内外の企業を招聘し、県内農業法人等とのマッチングを支援
・安定した供給体制の整備やニーズに対応した生産体制の強化に対する支援

取組ロードマップ

R7 | R8 | R9 | R10

【取組1】
企業との信頼関係の構築

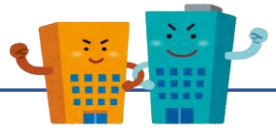


【取組2】
投資を呼び込む「資本参入」支援

企業へのアプローチ活動の展開
・参入に前向きな企業の課題の洗い出し、その解消に向けた指導・助言を実施
・大手外食事業者等を訪問し、本県への参入を提案

産地の合意形成支援
・参入に前向きな企業の取組を県内農業法人等と共有し、生産者の理解を醸成

企業による産地訪問等の実施
・原料調達を目的とした大手外食事業者等を招請し、県内農業法人等とマッチング



投資を呼び込むための支援
・安定した供給体制の整備に対するソフト支援
・ニーズに対応した生産体制の強化に対するハード支援

参入後のフォローアップ

２ 産業を守るための「戦略の推進」、「企業」等との連携

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

企業と取り組む「新しい再造林」の推進

経営の継続が困難な森林を意欲ある企業に集約し、スケールメリットとデジタルデータを活用した効率的な森林経営を行う「新しい再造林」を推進し、再造林率を100%以上に向上させる。

①企業による森林の取得・経営に必要な情報の整備

- 経営継続が困難な森林等のマッピング・オープンデータ化（２地区）
- 森林情報の解析技術とAI技術を組み合わせた情報更新システムの開発

②再造林の推進に向けたモデルの実証

- デジタル化した森林情報を活用した再造林やICT機器を活用した森林整備の実証（補助）

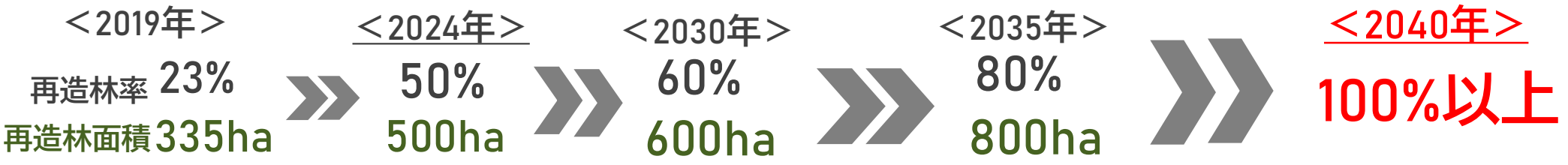
③再造林の推進に向けた経営人財の育成

- デジタル化した森林情報を活用する森林経営講座等の開催
- 低コスト再造林へのデジタル技術の活用方策の提案・実証（補助）
- 森林の取得・経営に先進的に取り組む他県企業等の調査

重要目標達成指標

2040年
再造林率
100 %以上

2040年
再造林面積
1,000 ha以上



３ 次代を支える ための「人財」の確保・育成

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

「あおもり農業経営塾」と提案型海外研修の実施

・一流講師陣による農業経営のプロになるための実践的な経営力向上研修
・チームによる提案型海外研修の支援



青い森林業アカデミーNext Visionに基づくアカデミーの機能強化

・講師増員や待遇改善等によるアカデミーの安定運営
・チェーンソー、仮払機など各種機材の更新
・高性能林業機械やVRシミュレーター設置等による研修環境の改善



座学や技術研修による漁業後継者の育成

・漁業の知識や技術、資格取得等のスキルアップに資する「賓陽塾」の開講
・地域自立漁業者の確保・育成



4 食料を安定供給するための「環境変化」への対応

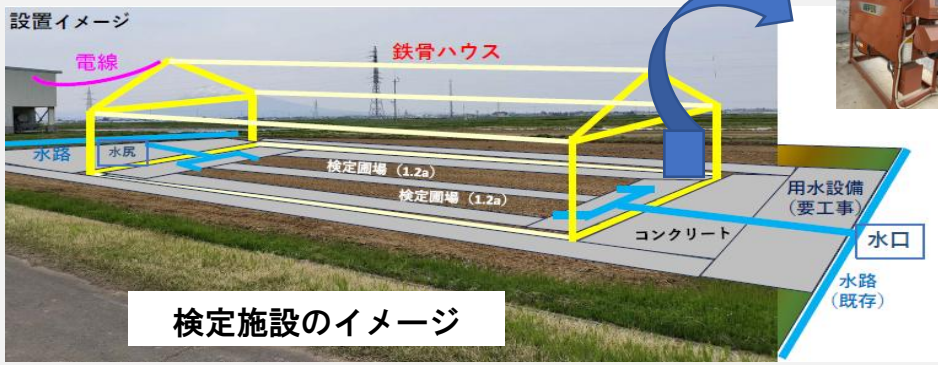
青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

猛暑に打ち勝つ水稲栽培緊急対策

①地域に適した高温対策の強化
- 常識を打ち破る高温対策技術への挑戦
- タイムリーな水利調整ネットワークの構築

②革新的な高温対策技術の早期確立
- 高温に対応した革新的な技術の開発
- 高温対応型・指導ツールの作成

③高温耐性を有する新品種の開発強化
- 高温耐性品種の早期育成に必要な水稲高温耐性検定施設を整備

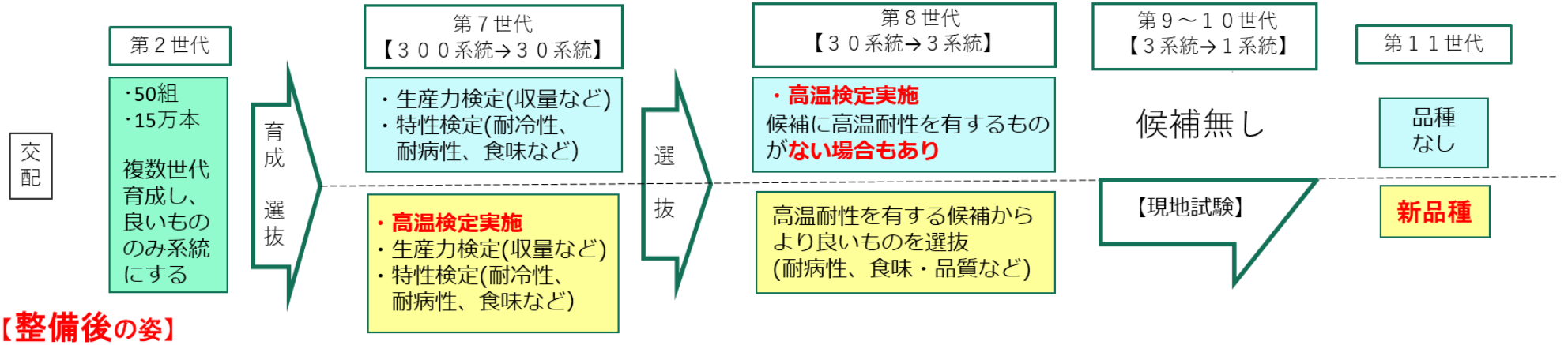


検定施設のイメージ



【従来の状況】

水稲育苗ハウスで実施してきたことから、通常年は夜温が不足し「白未熟粒」耐性の品種選抜ができなかったほか、規模が小さいために品種育成の最終段階でしか高温検定を実施できず、優れた高温耐性を持つ系統が見逃されてきた可能性があった。



【整備後の姿】

新施設
- 育成の早い段階で、耐冷性や耐病性に加え、高温耐性のある有望系統を確実に選抜することが可能となり、新品種が早期に育成される。
- 夜間の気温制御により、確実に高温耐性品種の選抜が可能となる。

→従来の10倍の選抜効率で高温耐性品種を早期育成！

4 食料を安定供給するための「環境変化」への対応

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

令和8年度の主な高温対策

りんご	DNAマーカー等の導入による品種開発の加速化 
ホタテ	高水温に対応した養殖技術・品種の開発、餌料環境変動への対応 
野菜	高温に応じたにんにく栽培技術の再構築  新たな資材の活用によるトマトの高温対策技術の検証 
施設園芸	遮光資材導入など施設内の温度上昇を抑制する取組の支援 
酪農	ドローンを活用した低コストな暑熱対策技術の実証試験 

4 食料を安定供給するための「環境変化」への対応

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

鳥獣被害防止・地域活動への緊急支援

先般策定した**「ツキノワグマ等野生鳥獣被害対策パッケージ」**に基づき、ツキノワグマやニホンジカなど各種鳥獣による農作物等の被害低減に取り組む。

①農作物被害防止に向けた農山村集落ぐるみの鳥獣対策活動の推進

- 農業者の被害防止対策知識の向上（JA講習会等での啓発活動、研修会開催）
- 農地周辺の環境整備等に対する農業者の意識醸成と実践

②農業者団体等が実施する鳥獣被害対策への緊急支援

- 農業者団体に対する被害対策資材の導入支援
- ニホンジカ・イノシシ等の捕獲わな、ICT機器等の導入経費を補助



自動撮影カメラ



撮影されたニホンジカ

事業イメージ

（現状）
農業者団体の
捕獲機材等が不足

（R8～R10）
緊急措置として
R8を中心に必要機材整備
を県が支援

（事業終了後）
- 捕獲技術の向上
- 必要機材の更新は
各自実施

自助努力による対策で自走

所得向上プログラムの拡充

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ 展開中

類型別モデルケース

本県における一般的な新規就農者や中堅クラスの経営体を想定し、複数の経営改善に向けた取組を行った場合の所得を試算

- 農業分野では５類型を追加して１４類型に
- 新たに林業及び漁業のモデルを追加

類型別モデルケース

自分の経営規模に近いモデルだと、どのくらい所得が上がるのかなあ？



1-① 土地利用型作物における新技術の導入（経営面積20ha→27ha）

問題点

●雇用労働力の確保が困難となる中、水稲と大豆の経営では、春季の作業が集中し、適期作業が困難

プログラムのポイント

●水稲の高密度は種苗栽培の導入
→育苗枚数が大幅に少なくなることで、生産コストや労働時間を削減

●大豆の晩播狭畦は種栽培の導入
→は種時期を分散し、水稲の作業との競合による作業遅れを回避
中耕培土が不要で、労働時間が削減。

導入後の姿（全ての技術導入時）

経営内容

項目	現状	導入後	増減
品　目	水稲（中苗移植）、大豆（標準）	水稲（高密度は種苗）、大豆（標準、晩播狭畦）	－
経営面積	水稲10ha 大豆10ha	水稲10ha 大豆17ha	7ha増加
販売収量	水稲578kg/10a 大豆（標準）135kg/10a	水稲572kg/10a 大豆（標準）180kg/10a 大豆（晩播狭畦）172kg/10a	水稲2%減少 大豆30%増加
販売単価	水稲226円/kg 大豆160円/kg	水稲226円/kg 大豆160円/kg	現状の品質を維持

経営収支

項目	現状	導入後	増減
粗収益	22,745千円	32,631千円	9,886千円増加
経営費	16,644千円	22,414千円	5,770千円増加
所　得 （所得率） 【経営面積当たり】	6,101千円 （26.8%）	10,217千円 （31.3%）	4,116千円増加 （4.5%増加）
所　得 【10a当たり】	31千円	38千円	7千円増加

経営改善メニュー　新設

生産者がそれぞれの経営に即した取組を選択できるよう、所得向上に向けて活用可能な技術や品種などをリスト化

・農業分野　５０メニュー
・林業と漁業のメニューも追加

経営改善メニュー



品目	番号	導入技術(品種)	効果		
			収量増	単価向上	コスト削減
水稲	1	高密度は種苗栽培の導入			○
	2	栽培管理支援システム(可変施肥)の導入	○		
	3	農作業受託の実施	○		
	4	V溝乾田直播の導入			○
大豆		作業機械の汎用化と晩播狭畦は種栽培の導入	○		○
		排水対策の徹底	○		
にんにく		優良種苗の全面導入	○	○	
		基本技術の実践	○	○	
		省力機械の導入			○



1　高密度は種苗栽培の導入

育苗や田植えの作業が軽減され、規模拡大による所得向上が可能

技術導入に係る必要事項 (必要な機械、留意事項など)	導入効果
【機械整備】(20ha規模を想定) ・高密度は種苗対応は種プラント　429千円 ・高密度は種対応田植え機　4,103千円 計　4,532千円 ・補助金(1/2)を除く自己負担額　2,267千円	育苗の箱数が1／3になることで ・育苗に係る肥料・農薬・材料費の減 ・雇用費の減 ・労働時間の減
【留意事項】 ・春季の作業が軽減され、規模拡大による所得向上が可能	

情報提供：青の煌めきあおもり国スポ・障スポの開催について

■今年は、あすなろ国体以来49年ぶりとなる青の煌めき国民スポーツ大会、本県では初めてとなる全国障害者スポーツ大会が開催。
■皆様におかれましても、この大会を大いに盛り上げていただきますようお願いします。

青のきらめきあおもり国スポ・障スポ
公式ロゴマーク



青のきらめきあおもり国スポ・障スポ
公式マスコット「アップリート君」